

報告 I

CKD

8/9 4者事業報告会を開催

今年度で本事業を開始して5年の節目を迎えました。それに伴い、協定を締結しております4者の代表をお招きし、事業報告会を開催いたしました。

事業報告会では、事業の経過報告と併せて、本事業の委員長である砂川博司先生と副委員長の金城一志先生より事業評価と医療機関からの評価、今後の展望についてご報告を行いました。

報告内容と4者代表からの本事業に対するご意見を一部抜粋して共有させていただきます。



中部地区医師会 会長
中田安彦



全国健康保険協会沖縄支部
企画総務部長 荒木直彦



うるま市 副市長 佐久川篤



沖縄市 市長 桑江朝千夫

◆医療機関からの評価

報告者：金城 一志 先生

「院内の透析ハイリスク患者の68%が、腎臓内科の目に留まっていないことが分かった。」

- 今後の目標：1.健康診断、かかりつけ医、基幹病院にて尿検査をルーチン化
2.基幹病院における腎臓内科と他科との院内連携体制の構築

◆事業評価と今後の展望

報告者：砂川 博司 先生

「基幹病院の内部での先生方の連携が非常に重要であるということが分かった。」

「今後は尿検査を徹底して、早期腎症を早く発見する。」

- 今後の展望：1.尿検査（微量アルブミン尿）の徹底による早期腎症の発見
2.eGFR低下率を用いたハイリスク患者の全数把握・適正受診
3.三剤併用療法＋多職種連携の実践
4.関係医師・保健師・関係コメディカル・薬剤師との連携強化
5.未治療者・治療中断者へ個別介入し治療へつなげる

～4 者代表からのご意見（一部抜粋）～

中部地区医師会 会長 中田 安彦

医療提供側として、ちゅらま～み（腎）プロジェクトを通して新規透析患者数が減って原因疾患の糖尿病、高血圧の治療ができてきていると思うが、治療中断者への医療フォローは今後も必要と考える。

医師会としては、会員の皆さんに**検尿の啓発活動**をやっていききたい。さらに地区医師会として開業を増やすために、地域に誘致を勧めていく。

全国健康保険協会沖縄支部 企画総務部長 荒木 直彦（支部長代理）

当協会の被扶養者の健診受診率においても、うるま市、沖縄市とも若干低い状況にあり、今後とも特定健診受診率向上に努めていかなければならないと感じている。

保険者としては、この事業を通じて1人でも多くの方が**自身の健康状態を認識**し、リスクがあるのに病院に行かれていない方を1人でも減らしていきたい。

うるま市 副市長 佐久川 篤

報告にもあったが、事業開始5年目の成果として、新規透析患者数は減少傾向であり、うるま市の国民健康保険料においては**事業開始から約4200万円の医療費抑制効果**が示されていた。

市としては、今回の中間報告を踏まえ、ちゅらま～み（腎）プロジェクトを今後も一層推進していく。

沖縄市 市長 桑江 朝千夫

このプロジェクトは、やり続けることで必ず効果、結果はついてくるものだと確信している。

我々**行政が担う役割は、特定健診の受診率の向上**にあると考える。受診率を向上させながら、そこで早期発見、早期治療、病状の進展阻止に、医療界の皆様にお力をいただいで効果を出していけたらと考える。

報告 2

CKD

病診連携推進・評価委員会について

令和4年9月30日（金）開催予定でありました第1回うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携推進評価委員会は、新型コロナウイルス感染症の流行状況、県内の医療体制ひっ迫の状況を鑑み、書面でのご報告とさせていただきます。

今回、評価委員の先生方には新たに委嘱状を交付させていただきました。任期は令和5年度までとなっております。今後とも本事業の推進に向けたご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

報告 3

CKD

令和4年度 登録医数及び医療機関数の更新状況について

令和4年11月更新

令和4年度のうるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医の登録状況は、CKD登録医52名と腎臓診療医13名、合計65名の医師と32カ所の医療機関にご登録いただいております。

平素より本事業にご賛同いただき、ご登録いただいておりますこと、誠に厚く御礼申し上げます。

●新規 登録医療機関

あずさクリニック（うるま市赤道）

●新規 登録医

CKD登録医：井口 梓 先生（あずさクリニック）
腎臓診療医：照屋 周造 先生（県立中部病院）

●登録医及び登録医療機関数

内訳 (人)

CKD登録医	52
腎臓診療医	13
計	65



登録医療機関
32 機関

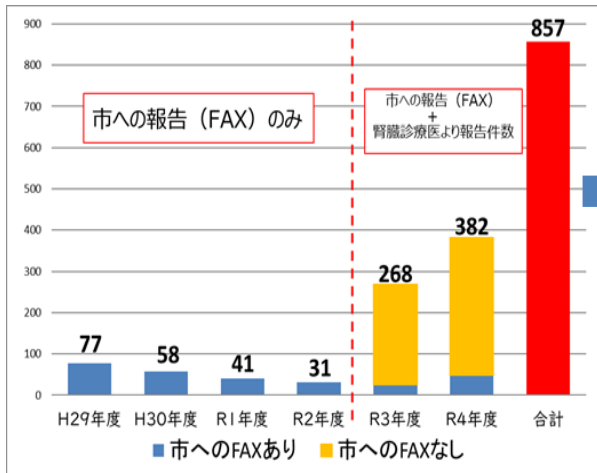
報告 4
CKD

CKD登録医から腎臓診療医への紹介件数

令和4年11月更新

FAX連絡票（様式第2号）を活用した、CKD登録医から腎臓診療医への紹介件数は、平成29年度からの累計で857件となっています。

●年度別紹介件数



●医療機関別紹介件数（累計）

	腎臓診療医	
	病院	計
①	中部病院	465
②	中頭病院	364
③	すながわ内科	9
④	安立医院	4
⑤	しおひら内科・腎クリニック	15
計		857

※令和4年度の件数は令和4年9月末時点の実績

ご多忙な中、紹介件数のご報告にご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

報告 5
CKD

令和3年度 健診からの受診勧奨件数

令和3年度、うるま市は受診勧奨率76.7%、受診率68.5%と昨年度よりどちらも増加しておりました。沖縄市は受診勧奨率84.3%、受診率81.1%と昨年度に比べ受診勧奨率は若干減少したものの、受診率は約20%増加しておりました。

重症化予防につながるよう、保健指導を引き続き取り組んで参ります。

※（ ）は令和2年度実績

R3年度	うるま市			沖縄市		
	対象者	CKD登録医	腎臓診療医	対象者	CKD登録医	腎臓診療医
対象者	236 (245)	209 (217)	27 (28)	396 (259)	292 (238)	104 (21)
受診勧奨者	181 (165)	162 (139)	19 (26)	334 (227)	249 (208)	85 (19)
保健指導率	76.7% (67.3%)	77.5% (64.0%)	70.4% (92.9%)	84.3% (87.6%)	85.3% (87.4%)	81.7% (90.5%)
医療受診者	124 (90)	109 (71)	15 (19)	271 (136)	193 (123)	78 (13)
受診率	68.5% (54.5%)	67.3% (51.3%)	78.9% (73.1%)	81.1% (59.9%)	77.5% (59.1%)	91.8% (68.4%)

※令和3年度から、尿潜血の要医療判定値が2+以上に変更となり、それに準じて受診勧奨対象者の基準も変更した

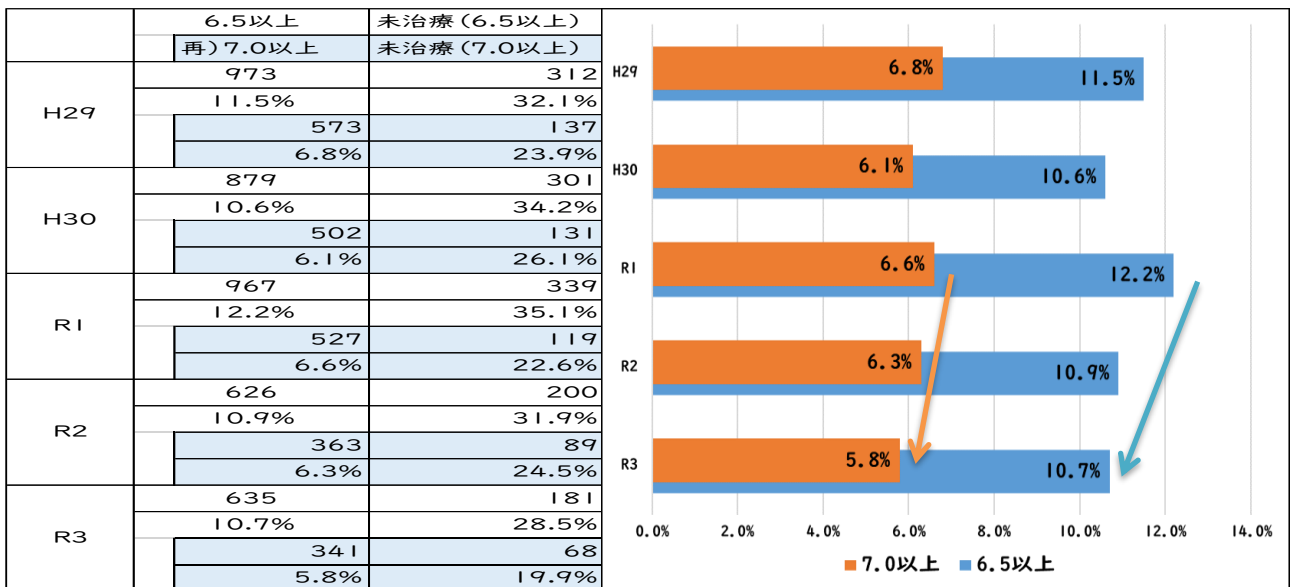
【HbA1c値有所見状況】

HbA1c 有所見者の割合は両市ともに増減しながら経過しておりますが、令和元年度以降は減少しております。

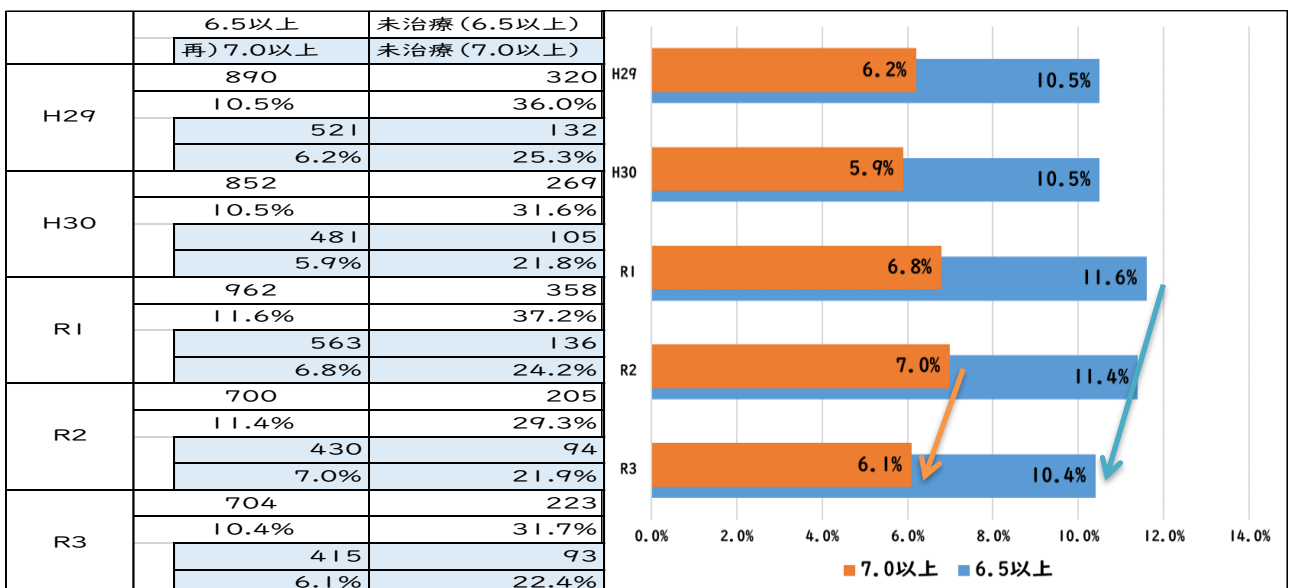
HbA1c7.0%以上の内訳をみると、両市とも未治療者が約2割となっております。

今後とも受診勧奨と血糖コントロールについて、医療機関と連携を図りながら保健指導を実施していく必要があります。

HbA1c6.5%以上の方の状況（うるま市）



HbA1c6.5%以上の方の状況（沖縄市）



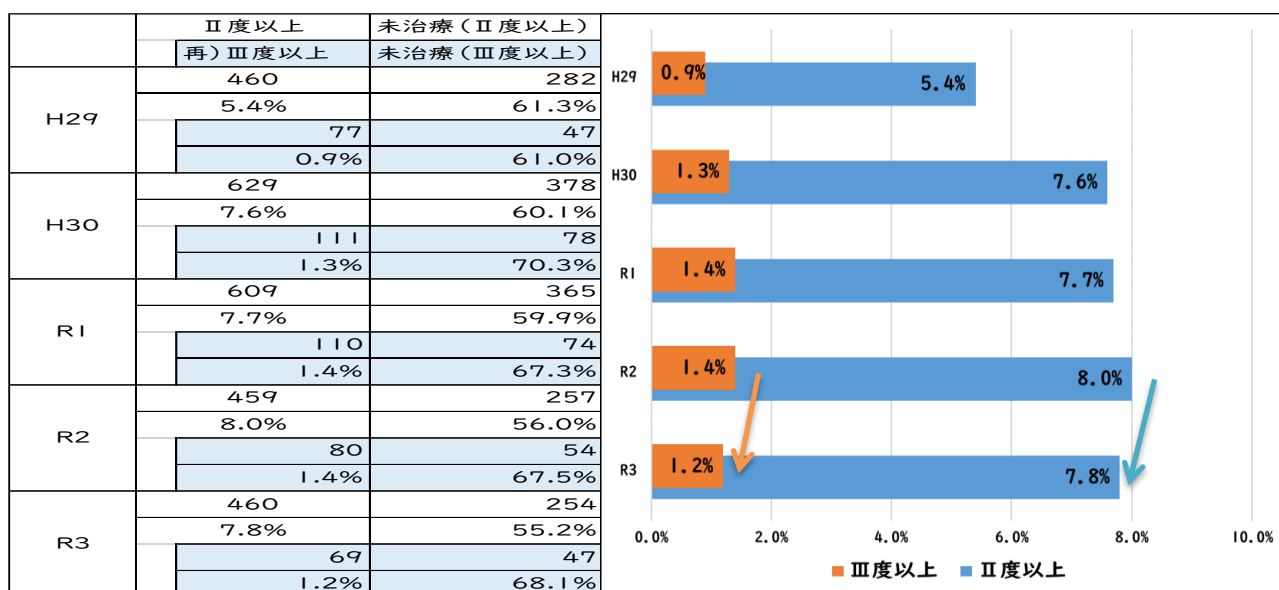
【血圧有所見状況】

Ⅱ度高血圧以上の対象者については、うるま市では経年的に増加傾向でしたが、令和3年度は昨年度と比べて減少しております。沖縄市では令和元年度まで増加傾向でしたが、以降は減少しております。

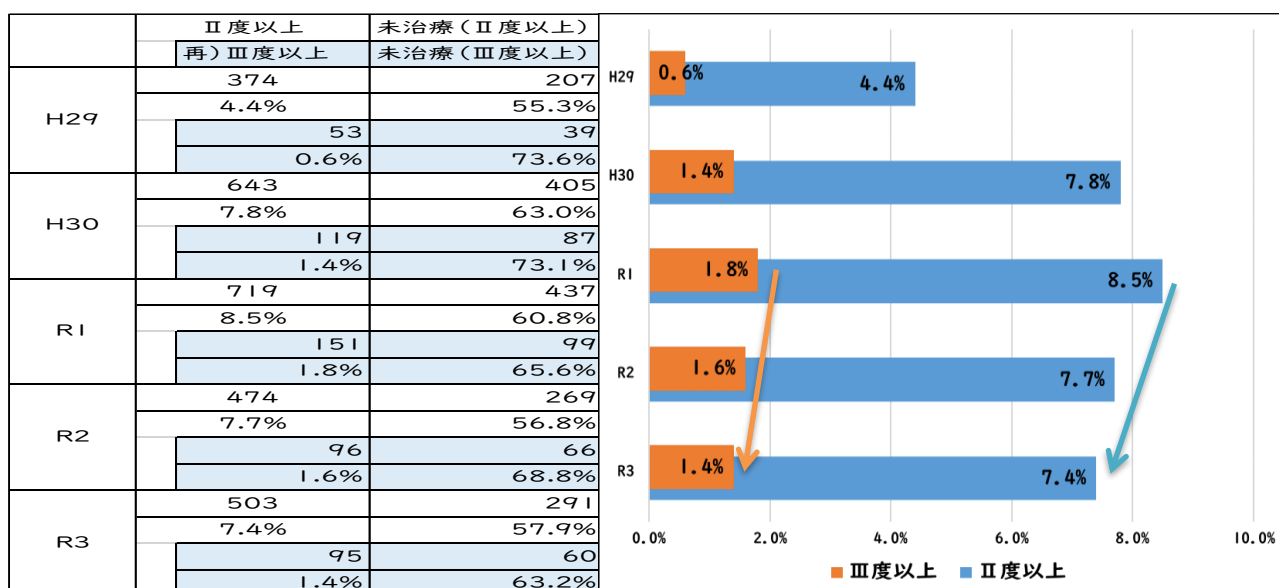
ただ、両市とも未だにⅡ度高血圧以上の未治療者が5割を超えており、今後の課題となっております。

血圧手帳の普及や医療機関との連携を通して現状の解決に向けて取り組んで参ります。

Ⅱ度高血圧以上の方の状況（うるま市）



Ⅱ度高血圧以上の方の状況（沖縄市）



今年度も徹底した感染症対策のもと、以下の事業を実施いたしました。

7/29

開催

●第1回コメディカル向け研修会 (健康福祉センターうるみんより Zoom 配信)



すながわ内科クリニック 理学療法士
伊波 亜津美 様 (中央)

今回は、すながわ内科クリニック 理学療法士の伊波亜津美様をお招きし、「すながわ内科クリニックにおける腎臓リハビリテーションの取り組み」をテーマに、腎臓リハビリテーションの有用性等についてご教示いただきました。

医師2名、薬剤師2名、保健師/看護師/栄養士40名、臨床検査技師1名、理学療法士/作業療法士6名の計51名が参加しました。

～参加者の感想～

・腎リハ、初めて聞きました。ストレッチなど内容も簡単で、動画など自宅で見れたらいいなと思いました。

●CKD・糖尿病性腎臓病病診連携医登録事業 特別講演会

(沖縄市役所より Zoom 配信)

9/21

開催



中頭病院 腎臓内科 上原正樹 先生



座長 砂川博司 先生

今年度の登録医説明会では、特別講演として中頭病院の上原正樹先生より「当院における糖尿病性腎症重症化予防への取り組み～ハイリスク患者群の実態把握と他科連携の重要性～」をテーマにご講演いただき、院内に潜むハイリスク患者の把握や他科連携の重要性についてご教示いただきました。

医療機関から15名、行政から19名、その他1名の合計35名が参加しました。

～参加者の感想～

・「院内連携の難しさ」に対してコンサルト体制を立ち上げるなど、実際に実行していることが素晴らしい。
・SGLT2阻害薬が腎保護作用で重要な位置を占めていることがよくわかり勉強になりました。



市民向けの情報発信について

本事業の周知や生活習慣病の重症化予防を目的に、健診受診の必要性やバランスの良い食事と運動等について、両市ともに広報や市公式 SNS 等を利用して市民へ情報発信を行っております。

● レシピ集や web 媒体を活用した啓発活動

うるま市

クックパッドアクセス数 102 万件



レシピ集の発行

「健康&美腎レシピ」

2019年3月

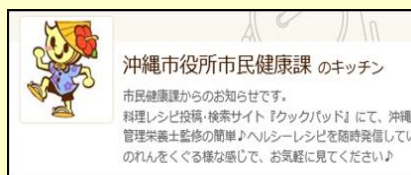
2021年3月

2022年2月 発行



沖縄市

クックパッドアクセス数 88 万件



YouTube「おきはくん」開設

- ・クックパッドより厳選したレシピ
- ・自宅でできる体操や筋トレ動画
- ・視聴回数 9,336 回 (R4 年 11 月時点)

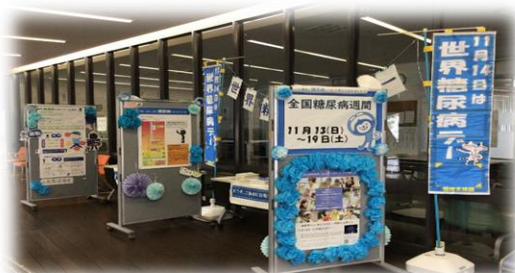
※クックパッドのアクセス件数は両市とも令和 4 年 11 月時点の実績

● 11 月 14 日 世界糖尿病デー

今年のテーマ『アドボカシー ～偏見に No!～』のもと、うるま市内の大型ビジョンを活用した PR 動画の放送や沖縄市立図書館での専用コーナーの設置等を行い、多くの市民に正しい糖尿病の理解に向けて啓発を行いました。



うるま市：TERUMA 大型ビジョン



うるま市：健康福祉センターうるみん 1 階ロビー



沖縄市：市役所 1 階 (喫茶コーナー)



沖縄市：市立図書館への専用コーナー設置

※うるま市は 11 月 14 日～18 日、沖縄市は 11 月 2 日～8 日の期間に実施

12月

開催

今年度も登録医の連携強化と資質向上に向けて、うるま市・沖縄市CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医会議（以下、症例検討会）を開催いたします。基幹病院での症例について検討し、知見を深める貴重な機会となっております。

症例検討会の開催について (Zoom配信)

日時 12月15日(木) 19時15分～21時

内容 1) CKD・糖尿病性腎臓病病診連携登録医事業
ちゅらま～みプロジェクト 事業報告
うるま市役所健康支援課

2) 症例検討会

[座長] すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

[症例報告] 中頭病院 腎臓内科 與那嶺 怜奈 先生

県立中部病院 腎臓内科 耒田 善彦 先生

※現在お申込みをされていない方で参加をご希望される場合は、お手数ですが下記へお電話くださいますようお願い申し上げます。

うるま市健康支援課 担当：松川、山内、宮城

TEL：(098) 973-3209 [8：30～17：15 対応 (土日・祝 除く)]



お問い合わせ・ご意見などありましたら、お気軽にご連絡下さい。

●うるま市 健康支援課

TEL：(098) 973-3209

FAX：(098) 974-4040

●沖縄市 市民健康課

TEL：(098) 939-1212

(内線 2262)